

2026年11月10日（火）12:00 スタート

【11/10開始】幻のカンボジアコーヒーで子どもたちに文房具を。古民家カフェがクラウドファンに挑戦!!

静岡県富士市の古民家カフェで焙煎する「notice coffee」。売上の5%で、カンボジアの子どもたち約700人に文房具を届けてきました。1kg焼ける焙煎機を迎え、この輪を広げます。

株式会社ドットプラン（本社：静岡県富士市、代表取締役：田中 彰）が運営するコーヒーブランド「notice coffee」は、**2026年11月10日（火）から12月10日（木）**まで、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」でプロジェクトを公開します。

notice coffee は、内戦で一度途絶えかけたカンボジアのコーヒーを農園から直接仕入れ、富士市の古民家カフェ「1518」の焙煎所で焼き、売上の5%で、カンボジアの子どもたちに文房具を届けています。

今回のプロジェクトでは、一度に250gしか焼けない今の焙煎機に代え、一度に1kg焼ける焙煎機の導入を目指します。焼ける量が増えれば、農園から買う豆が増え、子どもたちに届ける文房具も増えていきます。



プロジェクト名	一杯で子どもたちに文房具を。カンボジアの幻のコーヒーを焼く焙煎機を新しくしたい！
募集期間	2026年11月10日（火）12:00～2026年12月10日（木）23:59 / 目標 1,000,000円（All-in方式）
URL	https://camp-fire.jp/projects/991068/view

■「売れないから、やめたんだ」――18年越しのひと言

notice coffee を運営する遠藤文美は、カンボジアで日本語ガイドとして働いていました。あるとき、カンボジア人のガイド仲間から「実家でコーヒーを作っていたけれど、売れないから、やめたんだ」と聞かされます。

あれから18年。遠藤は富士市の古民家カフェで、バックパッカーとして巡ったアジアの国々のコーヒーを出していました。その一杯を淹れる毎日の中で、あの言葉を思い出し、カンボジアのコーヒーの産地、モンドルキリ州を訪ねます。



ガイド時代の遠藤。アンコールワットにて。

■ 内戦で一度途絶えかけた、カンボジアの幻のコーヒー

アンコール遺跡のあるシェムリアップから車で10時間のモンドルキリ州にある農園で、遠藤はティーさんに会います。そしてティーさんから、カンボジアのコーヒーづくりが内戦の時代に一度途絶えかけたことを聞きました。作っても買う人がいなければ、コーヒーづくりは続きません。そこで遠藤は、「支援」ではなく「買う」ことで農園を支えようと決めました。今はティーさんの農園から豆を直接仕入れ、日本で焙煎して届けています。



ティーさんの農園にて

■ 一杯のコーヒーが、文房具になる仕組み

カンボジアでは、多くの子どもが小学校に通えるようになり、公立の学校に学費はかかりません。それでも、家庭の事情で通えない子や、文房具を買えない子がいます。notice coffee は、**2つの仕組み**で、カンボジアの子どもたちに文房具を届けています。

- **一杯のコーヒーから**：コーヒーの売上の5%で、子どもたちに文房具を届けています。
- **会社の名前で**：法人向けの「notice coffee CSR課」です。会社でコーヒーを飲んでいただくと、1年ごとにその会社の名前で、子どもたち100人に文房具を届けています。

文房具は、現地のパートナーと教育局が選んだ学校を訪ね、子どもたちに直接手渡しています。これまでにカンボジア国内の5つの学校で、約700人の子どもたちに届けてきました。

■ 支援者ではなく、仲間「crew」として

notice coffee では、コーヒーを飲んでくれる人をお客さまではなく、一緒にプロジェクトを進める仲間「crew」と呼んでいます。毎月の定期便で会報とポッドキャストを届ける **notice crew** と、会社でコーヒーを飲み、その会社の名前で文房具を届ける **crew company** です。notice coffee が何よりも大切にしているのは、透明性と、crew との信頼です。会報「notice letter」では活動の様子と現地の様子を、ポッドキャスト「notice radio」では crew からの質問への答えを、毎月お届けしています。



■ 支援金の使い道

新しい焙煎機の導入（自己負担分）約50万円／ガス・換気扇の設置工事 約20万円／リターンの制作・送料 約20万円／CAMPFIRE手数料 約18.7万円／広報費 約5万円。目標を超える分は、自己資金でまかないます。焙煎機の費用の半分は、小規模企業経営力向上事業費補助金を活用します。導入するのは、株式会社煎りたてハマ珈琲の1kg焙煎機「HCR-1000」です。

■ 主なリターン（3,000円～300,000円、全17コース）

- 3,000円「はじめの一杯」：カンボジアのコーヒーのドリップバッグ
- 5,000円「カンボジアのおすそわけ」：シェムリアップのカフェ「Fresh Fruit Factory」がつくる生胡椒の塩漬け「情熱ペッパー」と、カンボジアの布「クロマー」（数量限定）
- 10,000円「けんちゃんのお米便」：文房具配布を手伝ってくれる、元ガイド仲間が京都府京丹後市で育てたお米
- 100,000円「出張notice coffee」（限定3口）：イベントや職場に伺い、コーヒーをふるまいながらカンボジアのお話をお届けします
- 50,000円～100,000円「法人向けコース」：御社のロゴ入りドリップバッグ（100個・250個）や、SDGsファシリテーターでもある遠藤が、ワークショップに伺うコース（いずれも限定）
- 300,000円「文房具を届ける旅」（限定1口）：遠藤がカンボジアの学校に同行。現地パートナーの協賛で遺跡観光も。

どのコースにも、遠藤とカンボジアのパートナー・オルからのお礼状をお入れします。

■ 今後の予定

2026年11月10日（火）：クラウドファンディングスタート／11月15日～20日：遠藤がカンボジアを訪れ、現地の様子をSNSと活動報告でお伝えします／2026年12月：焙煎機購入・設置／2027年2月：コーヒーなど物のリターンを発送（予定）／2027年4月：カンボジアから、現地パートナー・オルを招いてサンクスパーティー開催（ネクストゴール）

■ 担当者のコメント



notice coffee Chief Brand Officer 遠藤文美

いつもの一杯を飲むことで、カンボジアの子どもたちが笑顔になる。そんなさりげない社会貢献の輪を、もっと大きくしたいと思っています。社会貢献のハードルを、一杯のコーヒーの高さまで下げたい。一度に1kg焼ける新しい焙煎機は、そのための大切な相棒です。ぜひ、あなたもcrewとして、この輪に加わってください。

■ 応援の声



株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 代表取締役 小林 博之 様

昨年、カンボジアの子どもたちに文房具を届ける取り組みに賛同し、微力ながらお力添えさせていただきました。そのご縁から、今回のプロジェクトも心から応援しています。コーヒーを通じて現地の人々の暮らしを支え、子どもたちの未来につなげていく。ビジネスを通じて社会に幸せの循環を生み出す、素晴らしい挑戦がさらに広がることを願っています！



株式会社グローバルセールスパートナーズ 代表取締役 高塚 苑美 様

一杯のコーヒーが、生産者の暮らしを支え、子どもたちの未来につながっていく。単なる支援ではなく、価値あるものが正当に評価され、経済活動を通じて持続する仕組みをつくることに、大きな意義を感じます。文美さんの行動力と温かな想いが、国境を越えて多くの人に届くことを心から応援しています！



NPO法人Borderless Foundation 理事 山田 果凛 様

大学のSDGsワークショップで出会った文美さん。「私にも何かできないかしら」と話してくださった姿を今も覚えています。思いを一つずつ形にする行動力に、私も力をもらっています。貧困をなくし、子どもたちに教育の機会を届けたい。同じ想いを胸に、一緒に歩んでいきたいです。皆さまぜひ仲間になってください

■ 取材のご案内

スタート前後の焙煎所での焙煎の様子や、11月15日～20日のカンボジア渡航について、取材をお受けしています。下記までお気軽にご連絡ください。

会社概要 株式会社ドットプラン／〒417-0826 静岡県富士市中里34-1／代表取締役 田中 彰
設立 2020年9月 事業内容：古民家カフェ「1518（イチゴイチエ）」の運営、コーヒーブランド「notice coffee」の運営、法人向けCSR支援「notice coffee CSR課」、SDGsワークショップの企画・運営・講師派遣
URL：https://noticecoffee.com/ Instagram：noticecoffee

本件に関するお問い合わせ 株式会社ドットプラン notice coffee 担当：遠藤 文美
TEL：0545-67-2553 E-mail：1518.coffee@gmail.com



クラファンページ



notice coffee HP